



## 弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



### 令和5年度卒業証書授与式

**祝 卒業 巣立ちの日を迎えた二十名**  
令和6年3月1日(金)、第75回卒業証書授与式を本校体育館にて挙行了しました。柔らかな陽光の中、今年度は20名の生徒が立派に卒業の日を迎えました。

卒業生が入学した令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク等の感染予防対策の徹底や、学校行事の規模縮小など、以前の学校生活とは異なる生活が続いていました。今年度は制限が緩和され、ようやく日常が戻ってきた一年となりました。学校行事も制限なく行われ、運動会や、文化祭などでは、3年生が一



丸となって弓削高校のリーダーとして全体を引っ張って来てくれました。弓削高校での生活で学んだ経験は、きっと卒業生の皆さんの将来の糧になることでしょう。弓削高校教職員一同、卒業生の皆さんに、これからも前向きに目標に向かって努力し、成長して欲しいと願っています。

最後のホームルームでは、3年間を共に過ごした仲間や支えてくださった家族、先生への感謝の気持ちを伝えるスピーチを一人ずつ行いました。温かく3年生の成長を見守って来てくれた学年団の先生方からのメッセージの後、担任



の先生方からのビデオメッセージが上映され、温かい雰囲気のリビングルームとなっていました。卒業生の皆さん、弓削高校での3年間の思い出を胸に、それぞれの未来に向かって歩いてください。

**卒業生のみなさんのこれからの人生が実りある素晴らしいものになりますように。**



### 島親さん募集!

県外生に対して島の暮らしをサポートしていただける皆さまを募集します

連絡先 ☎ 77-2021  
弓削高校 教頭 正岡

## 日本の冬に溶け込む



岩城のALTのジェレミーです。今回はトリニダード・トバゴの晴れた日々と日本での冬の経験の大きな違いについて書きたいと思います。

故郷の熱帯気候から日本の寒い冬への移行は、それぞれの独自の魅力が実感できるとも印象的なものでした。熱帯気候のトリニダード・トバゴでは冬は単なる概念だけの存在でした。太陽は常に同伴者であり、暖かい抱擁を島国に与

え、その黄金色の光で生き生きとした風景を照らしました。一方、日本の冬の生活はまったく異なる経験でした。空気は冷たく鋭く、これまで経験したことのない温度まで下がります。凍える寒さではありませんが、日本の冬には特別な魔法があります。初めて経験する雪、霜に覆われた風景の静かな美しさ、そして伝統的な日本のこたつの暖かさはとても魅力的です。また、冬の季節には梅の花の到来があります。花が木々を飾る様子を待つ間、やがて春が訪れ、温かい日々と桜の美しさを約束してくれるのだらうと安心を感じます。

日本の桜と同様にトリニダード・トバゴでは、プイの木という木があります。黄色、ピンク、紫の色合いの華やかな花が島を色とりどりに変え、空気に甘い香りを

弓削 月 19:30 ~ 弓削地域交流センター  
生名 月 11:00 ~ 3分団集会所  
岩城 木 19:30 ~ 岩城総合支所庁舎

英会話教室

漂わせませす。プイの木は生命の再生と自然の循環リズムの美しさを象徴し、自然の驚異を一時停止するように感じさせます。日本の冬とトリニダード・トバゴの温かさの違いを経験する中で、私は世界の多様性とその季節の豊かさを体験する機会に感謝しています。桜の木々が咲くのを楽しみにしながら、これからの冒険に期待の気持ちでいっぱいです。



岩城地区担当  
ローガン ジェレミー エドウィン

## 弓削商船高等専門学校

<https://www.yuge.ac.jp/>



### 高専シンポジウムで理事長賞

1月27日、新潟県長岡市で「第29回高専シンポジウム in Nagaoka」が開催され、情報工学科5年生の長畑 桜弥さんが「独立行政法人国立高等専門学校機構理事長賞」を受賞しました。

この高専シンポジウムとは、全国の高専生が集まり、対外的に研究発表と討論を行うイベントで、口頭発表約200件、ポスター発表約90件が対面やオンラインで行われました。一次審査を9件が通過し、その中から最高の賞である「国立高等専門学校機構理事長賞」が長畑さんに授与されました。

長畑さんは『離島工学に基づく

持続可能な「ひとこねくと」支援事業スマホ教室の取組み』の題目で、自身が取り組んだスマホ教室の体験にもとづいて、持続可能な仕組みの提案と実践について発表しました。



### 新トラックで開催！公開講座「ランニングチャレンジ」

1月14日、陸上競技長距離種目の記録会(非公認記録)として「第1

回ランニングチャレンジin弓削商船高専」を開催しました。

記録会には上島町内の小学生や、広島県や新居浜市の方々など計32名が参加し、1000mと3000mを走りました。

昨年12月に改修工事を行い、きれいになった陸上競技場のお披露目を兼ねており、当日は天候にも恵まれ、次回も開催の声が期待されるよい記録会となりました。



第10回かみじまフォトコンテスト「しまの暮らし しまの旅 つなぐ ゆめしま海道」の応募作品の審査会を2/15(木)に行いました。

今回の応募総数は132点。テーマに沿った作品が全国各地から寄せられ、厳選なる審査の結果、ゆめしま海道賞を含む8点の作品が選ばれました。

最優秀賞は、吉川 航太(ヨシカワ コウタ)さん(愛媛県西条市)の「鳥居の影」です。フルサイズ一眼レフで撮られたモノクロ作品は光と陰影が美しく、島の日常風景を吉川さんの視点でドラマチックに切り撮られています。

その他の素晴らしい受賞作品も瀬戸内かみじまトリップ(上島町観光WEBサイト)にて発表しておりますので、ぜひご覧になってください。次号広報かみじま5月号の紙面でも全作品を特集掲載する予定です。

なお、4月以降に、町内各所および愛媛県内各所にて巡回展を行う予定ですので、ぜひ大きくプリントされた受賞作品を生でもご鑑賞ください。



最優秀賞 吉川 航太 「鳥居の影」



審査会風景

上島町観光協会

KAMIJIMA TOURISM ASSOCIATION



お問い合わせ ☎ 0897-72-9277